

「やなぎだけじゅうたくきゅうりんごくら」

柳田家住宅旧りんご蔵

「平岸りんご」の生産地

明治の初期より開拓使の方針もあって、果樹づくりが奨励された。豊平区平岸地区でも果樹の栽培が行われ、とりわけ「平岸りんご」の名称で、りんご栽培が盛んだった。平岸の丘陵地一帯にはりんご農園が広がり、北海道でも有数の生産地となり、ウラジオストックやシンガポールなど海外にも多く輸出していた。

最も古いレンガ造り倉庫

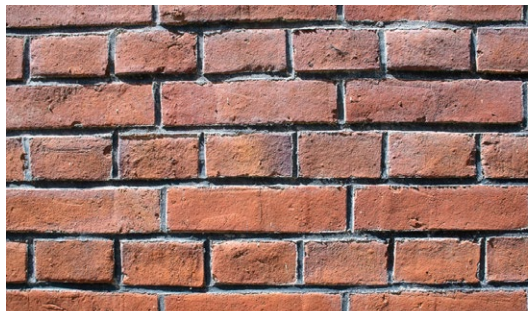
りんご農家柳田家のりんご蔵は、大正末期に建てられたものとされ、現在残っているレンガ造りのりんご蔵の中でも最も古いものと考えられている。構造は、レンガの長手ばかりの段と小口ばかりの段とが一段おきに現れるイギリス積み（イギリス積み）の造りで、切妻きりつま葺き瓦葺き屋根の2階建てである。軒飾りが施され、南妻面戸口にレンガ造り袖壁付き鉄板葺き庇と2階窓にモルタル塗袖壁付庇がある。

概要

○レンガ造2階建、瓦葺

○建築面積40㎡

建物内部の様子



イギリス積みのレンガ

建築年代

大正8(1919)年～1926(昭和元)年頃

登録年月日

平成24(2012)年8月13日

所在地

札幌市豊平区平岸2条5丁目9-1

観覧形態

敷地外からのみ観覧可

アクセス

地下鉄南北線「平岸」1番出口より約400m